

公営企業の業務状況

1 病院事業の業務状況

(1) 事業の概要

滋賀県病院事業では、高度専門医療を提供し、県民の健康増進と保健福祉の向上を図るため、次の3センターを運営しています。

病 院 名	診 療 開 始	診療科	病 床 数	建物延面積
成 人 病 セ ン タ ー	昭和 51 年 4 月	26 科	541 床	72,016.09 m ²
小児保健医療センター	昭和 63 年 4 月	9 科	100 床	9,444.42 m ²
精 神 医 療 セ ン タ ー	平成 4 年 9 月	3 科	100 床	8,151.09 m ²

患者の利用状況

平成 21 年度における県立 3 センターの利用実績（患者延数）は、入院が 189,859 人、外来が 265,760 人で、前年度に比べて、入院は 4,378 人の増加、外来は 591 人の増加となりました。

なお、各センターの近年の利用状況は、次のとおりです。

患者数

（単位 人）

区 分			平成 19 年度		平成 20 年度		平成 21 年度	
			上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期
成 人 病 セ ン タ ー	入 院	患者延数	61,502	63,490	65,270	64,170	66,338	69,036
		1日平均	336.1	346.9	356.7	352.6	362.5	379.3
	外 来	患者延数	99,154	96,444	98,114	95,291	98,636	99,367
		1日平均	799.6	797.1	784.9	807.6	801.9	835.0
小児保健医療 セ ン タ ー	入 院	患者延数	13,436	13,342	13,535	14,506	12,970	13,014
		1日平均	73.4	72.9	74.0	79.7	70.9	71.5
	外 来	患者延数	21,407	22,693	23,086	21,117	21,425	21,711
		1日平均	172.6	187.5	184.7	179.0	174.2	182.4
精 神 医 療 セ ン タ ー	入 院	患者延数	14,302	14,760	13,906	14,094	14,190	14,311
		1日平均	78.2	80.7	76.0	77.4	77.5	78.6
	外 来	患者延数	15,895	15,951	14,589	12,972	12,718	11,903
		1日平均	128.2	131.8	116.7	109.9	103.4	100.0
合 計	入 院	患者延数	89,240	91,592	92,711	92,770	93,498	96,361
		1日平均	487.7	500.5	506.6	509.7	510.9	529.5
	外 来	患者延数	136,456	135,088	135,789	129,380	132,779	132,981
		1日平均	1,100.5	1,116.4	1,086.3	1,096.4	1,079.5	1,117.5

建設改良の状況

成人病センターで高度がん医療システム整備事業に着手し、ポジトロンエミッション CT 診断装置の更新および放射線治療室の改修工事を行いました。また、医療の高度化に対応するため、県立 3 センターで引き続き医療機器の整備等を行いました。なお、高度がん医療システム整備事業のうち、放射線治療機器

の整備については、平成 22 年度に繰り越しています。

(2) 経理の状況

予算の補正の状況

平成 22 年 2 月県議会定例会において、入院収益の減少等により、事業収益を 173,308 千円減額し、特別損失の計上等により、事業費用を 286,015 千円増額補正しました。また、資本的収入を 15,526 千円、資本的支出を 16,221 千円それぞれ減額補正しました。

平成 21 年度予算の執行状況

平成 21 年 4 月 1 日から平成 22 年 3 月 31 日までの予算の執行状況は次表のとおりです。

科 目	当初予算額	前年度からの繰越 (財源充当)額	補正予算額	予算現額(A)	執行額(B)	(B)/(A) %
病院事業収益	16,787,000	-	172,883	16,614,117	16,606,063	100.0
医業収益	14,327,035	-	316,720	14,010,315	14,007,283	100.0
医業外収益	2,249,765	-	118,802	2,368,567	2,361,977	99.7
附帯事業収益	210,200	-	25,035	235,235	236,803	100.7
病院事業費用	17,355,000	-	286,864	17,641,864	17,478,590	99.1
医業費用	16,455,095	-	76,936	16,378,159	16,222,088	99.0
医業外費用	689,705	-	14,187	675,518	670,026	99.2
附帯事業費用	210,200	-	23,210	233,410	231,701	99.3
特別損失	-	-	354,777	354,777	354,775	100.0

科 目	当初予算額	前年度からの繰越 (財源充当)額	補正予算額	予算現額(A)	執行額(B)	(B)/(A) %
資本的収入	2,062,000	-	817,574	2,879,574	2,341,349	81.3
企業債	1,417,700	-	816,700	2,234,400	1,694,100	75.8
補助金	5,400	-	1,944	3,456	5,531	160.0
負担金	638,900	-	2,818	641,718	641,718	100.0
資本的支出	2,990,000	-	816,879	3,806,879	3,266,555	85.8
建設改良費	321,140	-	817,208	1,138,348	598,027	52.5
企業債償還金	2,668,860	-	329	2,668,531	2,668,528	100.0

(注) 1 補正予算額は、平成 21 年 6 月県議会定例会、平成 21 年 9 月県議会定例会および平成 22 年 2 月県議会定例会における補正予算額の合計額です。

2 資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、損益勘定留保資金等で補てんしました。

企業債の状況

平成 22 年 3 月 31 日現在の企業債の現在高は、21,760,761 千円です。

決算の状況

損益収支

事業収益は、患者数の増加による医業収益の増加等により対前年度比 3.1%増加の 16,581,629 千円となりました。一方、事業費用は、給与費の増による医業費用の増加、特別損失の計上等により、対前年度比 1.2%増加の 17,457,137 千円となりました。この結果、当年度純損失は、前年度より 301,520 千円減少し、875,508 千円となりました。

財務状況

平成 21 年度末の総資産は、減価償却による有形固定資産の減少等により、前年度より 1,041,037 千円 (2.7%) 減少して 36,863,584 千円となりました。これに対して負債は未払金の増加等により 225,271 千円 (11.9%) 増加して 2,125,218 千円と、資本は当年度未処理欠損金の増加等により 1,266,308 千円 (3.5%) 減少し 34,738,366 千円となりました。

比較損益計算書 (平成 21 年 4 月 1 日から平成 22 年 3 月 31 日まで) (単位 千円)

科 目	平成 21 年度(A)	平成 20 年度(B)	比 較 増 減	
			(A) - (B)	(A)/(B) %
事 業 収 益	16,581,629	16,080,507	501,122	103.1
医 業 収 益	13,992,892	13,492,523	500,369	103.7
医 業 外 収 益	2,352,006	2,334,155	17,851	100.8
附 帯 事 業 収 益	236,731	253,829	17,098	93.3
事 業 費 用	17,457,137	17,257,535	199,602	101.2
医 業 費 用	16,060,209	16,002,633	57,576	100.4
医 業 外 費 用	810,529	826,894	16,365	98.0
附 帯 事 業 費 用	231,624	244,411	12,787	94.8
特 別 損 失	354,775	183,597	171,178	193.2
当年度純利益(は損失)	875,508	1,177,028	301,520	74.4

比較貸借対照表 (平成 22 年 3 月 31 日現在) (単位 千円)

資 産 の 部				負 債 お よ び 資 本 の 部			
科 目	平成 21 年度	平成 20 年度	比較増減	科 目	平成 21 年度	平成 20 年度	比較増減
固定資産	29,289,031	30,324,568	1,035,537	固定負債	60,000	33,000	27,000
流動資産	6,935,882	6,903,939	31,943	流動負債	2,065,218	1,866,947	198,271
繰延勘定	638,671	676,114	37,443	負債合計	2,125,218	1,899,947	225,271
				資本金	38,175,852	39,150,280	974,428
				剰余金	3,437,486	3,145,606	291,880
				資本合計	34,738,366	36,004,674	1,266,308
合 計	36,863,584	37,904,621	1,041,037	合 計	36,863,584	37,904,621	1,041,037

(3) 平成 22 年度の事業および予算の概要

県立病院では、平成 18 年度に地方公営企業法を全部適用し、病院事業管理者として病院事業庁長を設置し、病院改革に取り組んできましたが、全国的な医師、看護師不足の影響等から、大変厳しい経営状況とな

っています。こうした中で、平成21年3月に「第二次滋賀県立病院中期計画」を策定し、集中的に経営の効率化と医療の質の向上に取り組むこととしました。平成22年度は、この計画の着実な達成を図るため、一層の経営改善に取り組むとともに、診療体制の充実、患者サービスの向上を進め、将来を見通した機能の整備を図ります。

成人病センターでは、がん・心臓血管疾患・脳神経疾患の3大疾病および糖尿病に関する拠点施設として診療体制を充実・強化します。特に、がん対策については、都道府県がん診療連携拠点病院として集学的治療を行うための診療体制の充実・強化、病院情報システムの更新による病院機能の高度化を図ります。また、研究所と診療部門との連携を強化して県内の医療提供体制の整備を支援するとともに、研究所の画像・病理診断機能の向上を図ります。さらに、疾病構造の変化等に対応し、県民の多様な要望に応えるため、将来を見据えた機能の再構築を検討します。

小児保健医療センターでは、一般病院では対応が困難な障害児医療、小児慢性・難治性疾患を中心とした高度専門医療の機能を充実・強化するとともに、保健所等と連携し、在宅療養に対する支援体制を構築します。また、県内の母子保健の中核的支援拠点として、小児保健サービスの機能を強化します。

精神医療センターでは、県民の精神医療を担う中核施設として、思春期精神障害、アルコール・薬物の中毒性精神障害等の専門治療や、精神科救急医療システムに基づく中核施設として、精神科救急情報センターと協働し、救急・急性期医療への対応に重点的に取り組めます。また、新たな政策医療や精神科医師不足等の精神科医療をめぐる情勢の変化に対応するため、センターの果たす役割について検討します。

平成22年度当初予算の概要

収益的収入および支出

(単位 千円)

款	項	金額	左 の 内 訳			
			成人病センター	小児保健医療センター	精神医療センター	経営管理課
病院事業収益		17,592,000	13,477,200	2,633,900	1,411,400	69,500
	医業収益	15,065,875	12,088,526	2,043,986	866,367	66,996
	医業外収益	2,319,325	1,388,674	383,114	545,033	2,504
	附帯事業収益	206,800	-	206,800	-	-
病院事業費用		17,838,000	13,799,300	2,579,100	1,390,100	69,500
	医業費用	16,994,230	13,279,051	2,324,406	1,321,273	69,500
	医業外費用	636,970	520,249	47,894	68,827	-
	附帯事業費用	206,800	-	206,800	-	-

資本的収入および支出

(単位 千円)

款	項	金額	左 の 内 訳			
			成人病センター	小児保健医療センター	精神医療センター	経営管理課
資本的収入		2,585,000	1,849,300	563,200	172,500	-
	企業債	1,919,000	1,313,600	468,200	137,200	-
	負担金	666,000	535,700	95,000	35,300	-
資本的支出		3,576,000	2,647,600	671,900	256,500	-
	建設改良費	1,960,670	1,351,670	469,900	139,100	-
	企業債償還金	1,615,330	1,295,930	202,000	117,400	-

(注) 資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、損益勘定留保資金等で補てんします。